

# 広がれ！ ポランティアの



「第十四回全国ポランティアフェスティバル火の国くまもと」が十月二十九日(土)三十日(日)に開催されます。県ではこのフェスティバルをきっかけに、皆さん一人一人にポランティアについて関心を深めていただき、その活動の輪が広がることを目指しています。このコーナーではいろいろな分野で取り組まれている県内のポランティア活動を紹介いたします。

## 第1回 ピア・カウンセリング「まちの保健室 イコイバ」

誰もが気軽に立ち寄れる「居場所」

「中高生などの悩みや不安を受け止める場。また地域の人たちとの交流の場」として九州看護福祉大学(玉名市)のピア・カウンセリングサークル(顧問・久佐賀真理講師)の学生が中心となつて運営する「まちの保健室 イコイバ」。

ピア・カウンセリングとは、同じような境遇や悩みを持つ者同士(仲間)が、対等な立場で話を聞き合うこと。「思春期の多感な子どもたちのサポート」という地域の声を受け、日本看護協会が進める「まちの保健室」モデル事業として、「イコイバ」はスタートしました。その名は「憩いの場」と熊本弁の「イコイ(行くところ)」から付けられました。R玉名駅前通りの空き店舗を拠点に活動を始め、今年で三年目を迎えます。



まちの保健室「イコイバ」

「中高生が一人で悩みを抱え込むことがないよう、に支えたい。安心して居られる空間をつくりたい」と話すサークル代表の浦原真澄さん。「カウンセリング＝相談」と

いった堅苦しさはなく、みんなが愛称で呼び合う家族的な雰囲気。現在、学生四十一人、看護職の専門家六十五人が、月～金曜日の午後四～八時、十月～三月は午後四～七時に交代で対応しています。

まち全体が「イコイバ」になることを願って、地域の気軽な相談所「まちの保健室」の取り組みは、全国各地にあります。学生が中心となり、若年層を対象にしているのは「イコイバ」だけ。「身近で自然体の学生たちだからこそ、中高生が気軽に相談できるのでは。」と、悩みを話して、促しても、相手は構えるだけです。普段の会話の中でボロッと本音を話せるような関係が理想ですね。と、専門家の田上民子(たのべ)さん。学生たちも、「ここでいろいろな人と交流することで、自分も元気をもらうことができます。」と、相手の話を聞くこと、そして自分の気持ちを伝えることの大切さを学びました。と話します。将来は、「まち全体がみんなが気軽に話し合える「イコイバ」になればいいな」とみんなの願いは、ついに小さな種から芽が出たばかりの「イコイバ」は、まち中に明るい笑顔の花が咲くことを願って、その交流の芽を大切にはぐくんでいます。



「イコイバ」の学生、専門家の皆さん

# 知りたい！県庁

皆さんの質問にお答えします。

**Q** 夜間に子どもが病気になったり、けがをしたりしたとき、どこに相談すればよいのですか。身近に相談できる人がいなくて困っています。

**A** ■小児救急電話相談を行っています。休日や夜間の救急患者数のうち、子どもの割合がとても高くなっています。その中には、自宅での静養や翌日の昼間の受診で済むような軽症の場合が少なくありません。

### 電話相談の流れ

子どもの急な病気など

県内統一 # (シャープ) 8000  
携帯電話やダイヤル回線電話からは  
096-364-9999

### 相談窓口

熊本地域医療センター(熊本市)  
相談時間/毎日・午後7時から午後11時まで  
看護師(必要に応じて小児科の医師)が対応

この背景には、核家族化や少子化が進み、子どもが病気になったときに身近に相談できる人がいないことの影響などがあるといわれています。

このような保護者の方々の不安を解消する

ために、県では、熊本県医師会と熊本市医師会、熊本県看護協会の協力で、夜間の小児救急に関する相談ができる「熊本県小児救急電話相談」を行っています。

■県内どこからでも「# (シャープ) 8000」で相談できます。この電話相談は、県内どこからでも「# 8000」で利用できます。ただし、夜間の子どもの病気やけが、薬、応急処置などに対応するためのものです。一般的な育児相談などは、平日の昼間に、保健所など各相談窓口にお電話ください。

### 〈熊本県小児救急電話相談の概要〉

- 相談時間/毎日・午後7時から午後11時まで
- 電話番号/ #8000(県内統一)ただし、プッシュホン回線電話の場合 ※携帯電話やダイヤル回線電話からは、096-364-9999。
- 相談員/看護師資格を持つ専任の相談員が対応します。全員、小児科の担当経験のある看護師です。
- 相談内容/相談員が子どもさんの様子をお伺いし、対応についての助言を行います。必要に応じて、小児科の医師が助言や応対をします。

※電話による限られた情報に基づく助言です。あくまでも相談される方のご判断の参考としていただくためのものです。その限界についてはご承知ください。

### お問い合わせ先

熊本地域医療推進課 医事班  
☎096-383-1111(内線7046) FAX 096-385-1754  
電子メール tiikiiryou@pref.kumamoto.lg.jp

